

JALグループ、2003年度の国内路線運営に関する基本方針を決定！

～ 効率的な運営によって、さらに便利な国内線を目指します～

2002年10月24日

第 02009 号

JALグループは、2003年度の国内線について、JALエクスプレスを含む日本航空（以下JAL）と日本エアシステム（以下JAS）の両社が現在乗り入れている地点において、JAL・JASの一方が乗り入れることにより、利便性と効率性を改善するという基本方針を決定いたしました。

JAL・JASは重複した生産資源の効率化とダイヤ改善を図るため、2002年度下期において、女満別、とかち帯広路線の運航をJASに統一いたしておりますが、2003年4月からさらに重複地点の整理を推し進め、現在19ある重複乗り入れ地点のうち、9地点の発着便をJAL又はJASのどちらか一方に統一化することといたしました。

運営会社	対象地点
JAL	小松、那覇
JAS	秋田、広島、高知、熊本、長崎、宮崎、鹿児島

上記を除く両社乗り入れ地点および国際線につきましては、引き続き両社が運営いたします。

尚、具体的な路線・便数・ダイヤにつきましては、2003年1月を目途に決定致します。

JALグループは今回の統一化により、ダイヤ改善を図り、お客様にとってさらに使いやすい国内線を目指すとともに、運営の効率化を図って参ります。21世紀の空に羽ばたくJALグループにどうぞご期待ください。